

=====  
地域循環共生圏登録団体メールマガジン Vol.23

[2021.3.3]

- 「岡山県真庭市 コミュニティ・ブランド 『GREENable』」のご紹介
- 「第4回地域循環共生圏オンラインセミナー」開催のご案内
- 「CDP 水セキュリティレポート 2020 報告会×Water Project」開催のご案内

=====  
■ 「岡山県真庭市 コミュニティ・ブランド 『GREENable』」のご紹介  
-ブランドの中核施設となる CLT パビリオン愛称の世界公募を実施中！-

「GREENable (グリーンナブル)」とは、“Green”と“Sustainable”を組み合わせた造語で、洗練され誰にでも使いやすい自然共生に関する行為やモノを紹介する「コミュニティ・ブランド」です。

サステナブルな社会の実現を目指して、真庭市と阪急阪神百貨店が中心となって構想し、環境省地域循環共生圏事業をきっかけに様々な地域内外の関係者・企業とつながりながら、コミュニティ・ブランドとして新たに立ち上がりました。

「持続可能な人の営みを、自然の中で考える。」をキーワードに、真庭市の自然環境を活用した商品や体験型サービスを提供することで、「GREENable」の哲学や価値を伝えながら、持続的な地域資源の活用・保全に繋がる循環を生み出すことを目指しています。

また、「GREENable」ブランドの発信拠点施設として「GREENable HIRUZEN」が、2021年7月蒜山高原にオープンします。

この施設は、真庭市の木材で作られた CLT(直交集成板)を使い、東京・晴海に建設された隈研吾氏設計の“CLT PARK HARUMI”を、蒜山高原に移築するものです。

このプロジェクトでも、解体して再生できるという木造建築物の特性を活かした都市と地域の「循環」が生まれています。

真庭市では、その中核施設となるパビリオンの愛称の「世界公募」を行っていますので、ぜひご応募ください。(専用サイトから3月31日まで受け付け)

「地域資源の活用」と「持続可能性」、そして「循環」がキーワードとなった、まさに地域循環共生圏を体現する先進的な取組です！

詳細は以下 URL からご覧いただけます。ぜひご覧ください！

○真庭市ウェブサイト：隈研吾氏設計監修パビリオン棟の愛称 募集

<https://www.city.maniwa.lg.jp/soshiki/40/39754.html>

○GREENable HIRUZEN ウェブサイト

<https://greenable-hiruzen.co.jp/>

=====

■「第4回地域循環共生圏オンラインセミナー～地域循環共生圏ビジネスのはじめ方～」開催のご案内

3/20(土)に「地域循環共生圏オンラインセミナー～地域循環共生圏ビジネスのはじめ方～」がオンラインにて開催されます。全国各地で地域循環共生圏ビジネスに取り組まれている3企業にご講演いただき、後半の質問・交流セッションでは、登壇者と参加者で質問や情報交換が出来る場を設けております。ぜひお気軽にご参加ください。

○開催概要

【日時】令和3年3月20日(土) 10:00～12:00

【場所】オンライン (Zoom) ※参加の手順を別途ご案内いたします

【主催】環境省

【参加費】無料

【定員】50名(1団体あたり最大3名)

※多様な方々にご参加いただきたいため、上記を超えるご参加については同一接続での参加を推奨します。

【プログラム】

[10:00～10:20] 挨拶・環境省講演「地域循環共生圏ビジネスの先進事例とその成功要因について」 岡村 幸代 (環境省 大臣官房 環境計画課 環境経済政策調査室長)

[10:20～11:35] 話題提供

講演①「農業分野における、衛星データを活用したカーボンニュートラル社会の実現について」 坪井 俊輔 (サグリ株式会社 代表取締役 CEO)

講演②「七転び八起き ～めげない人生継続中～」 早田 圭介 (株式会社アイル 代表取締役)

講演③「被災地における新事業創出へのチャレンジ」 引地 恵 (株式会社 WATALIS 代表取締役)

※講演順は変更の可能性有り

[11:35～12:00] 質問・交流セッション

[12:00] 閉会

**【申込方法】**

以下専用フォームより、下記4点をご記入ください。

<https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLScWKXwydRxzI9uYsbp9-0GLihG0vuc1WXyNozBLjF2S9iFOLw/viewform>

ア) お名前 (フリガナ)

イ) 電話番号

ウ) メールアドレス

エ) ご所属

**【申込期日】** 令和3年3月18日(木) ※定員に達し次第、締め切らせていただきます。

**【お問合せ】** 株式会社野村総合研究所 グローバルインフラコンサルティング部 向井・由藤

E-mail: localsdgs2020@nri.co.jp

=====

**■ 「CDP 水セキュリティレポート 2020 報告会×Water Project」開催のご案内**

令和3年3月9日(火)に環境省、CDPの共催で「CDP 水セキュリティレポート 2020 報告会×Water Project」を開催します。

本報告会では、水循環基本法に基づく健全な水循環の重要性について、企業や自治体等の理解や関心をより高めることを目的とし、CDPが実施している企業の水リスクへの対応に関する調査結果の報告や企業の優良事例を発表する他、Water Projectの取組として、健全な水循環の維持・回復の推進に関する取組事例等の発表を行います。

参加申込が必要となりますので、ご興味のある方は環境省ウェブサイトをご確認ください。

詳しくは下記URLから(環境省ウェブサイト)

<http://www.env.go.jp/press/109137.html>

○開催概要

**【日時】** 令和3年3月9日(火) 15:00~17:30(予定)

**【開催方法】** WEB開催 (Zoom)

※会議 URL につきましては、お申込みいただきました方に別途ご連絡をさせていただきます。

**【共催】** 環境省、一般社団法人 CDP Worldwide-Japan

**【定員】** 1,000名程度

**【プログラム】** ※プログラムは予告なく変更となる場合があります。

[15:00] 主催者挨拶 環境省

[15:05] 「水セキュリティについて」 CDP

- [15:15] 基調講演「水と気候変動の関係（仮称）」 沖 大幹 国連大学上級副学長  
[15:35] 「CDP 水セキュリティ調査の取組と 2020 評価結果について」 CDP レポートライターKPMG あずさサステナビリティ  
[15:55] 「水セキュリティと ESG 投資」 ※講演者調整中  
[16:05] パネルディスカッション「企業の水への取組（仮称）」  
モデレーター：CDP  
パネリスト：CDP 水セキュリティ 2020 A リスト企業数社  
[16:40] 「健全な水循環への取組について」 環境省  
[16:50] 「熊本市の持続可能な地下水保全に関する官民連携の取組について」 熊本市  
[17:05] 「CDP シティについて」 CDP  
[17:20] 閉会挨拶 CDP

#### 【申込方法】

下記 URL リンク先よりお申し込みください。

[https://zoom.us/webinar/register/WN\\_y48JCvc\\_Ti0G0e-hltgE1A](https://zoom.us/webinar/register/WN_y48JCvc_Ti0G0e-hltgE1A)

【申込期日】令和3年3月8日（月）

※申込期間内でも定員になり次第、受付は終了いたしますので御了承ください。

※報道関係者の方の参加申込についても上記申込方法と同様となります。

#### 【お問い合わせ】

・セミナー全般についての問合せ先

一般社団法人 CDP Worldwide-Japan TEL: 03-6225-2232 e-mail: japan@cdp.net

環境省 環境省水・大気環境局水環境課 (Water Project) TEL: 03-5521-8312

・申込方法についての問合せ先

八千代エンジニアリング 吉田・柳沢

TEL:03-5822-2353 E-mail: seminar2021-cdp-w@yachiyo-eng.co.jp

=====

※このメールマガジンは、地域循環共生圏登録制度にご登録いただいた団体の皆様に登録制度事務局より送信しています。

※配信先の追加・変更・配信停止・その他本メルマガに関するお問い合わせは事務局までご連絡ください。

発行：地域循環共生圏登録制度事務局 (touroku@chiikijunkan.jp)

=====